

## 移動スーパーによる買い物困難者救済：とくし丸とサニーマートの事例研究

1220476 嶋田真子

指導教員 石谷康人

### 研究背景

現在日本では高齢者の増加、地域スーパーの撤退、交通網の弱体化により買い物困難者が増加している。その救済手段として移動販売業が注目されるが、生鮮食料品を取り扱うことができないことや採算の取れない限界集落地まで行けないという問題点がある。その問題点を解決し得る買い物困難者を誰一人取り残さない救済ができる移動スーパーとくし丸に着目する。

### 研究目的

とくし丸が買い物困難者を誰一人取り残さないことを可能とする救済である要因を探り、とくし丸が過疎地域における買い物困難者の食生活をどのように救っているのかを明らかにする。

### 調査・分析方法

とくし丸と連携し、過疎地域まで軽トラックを走らせることに成功している高知県の食品スーパーであるサニーマートで見学・インタビュー調査と一次二次資料を用いた情報収集基に事例研究を行う。

### 分析結果

サニーマートはとくし丸と連携している他の地域スーパーと比べ、販売パートナーにも顧客にも寄り添ったサポートを実施し、過疎地域にまで販売に行ける経営方針をとっていた。また、生鮮食料品を沢山積み込める軽トラックを使用することで買い物困難者の食生活の維持にも貢献している。

### 考察・結論

地域スーパーの献身的なサポートによって過疎地域までトラックを走らせることができているため、より広域な移動販売を可能とするには地域スーパーとの連携が重要である。また、生鮮食料品を沢山積み、過疎地域にまで販売に行ける軽トラックにも特徴があった。それにより買い物困難者の元に生鮮食料品までも届けることができ、健康的な食生活が維持されている。そしてそのトラックの物質的な特徴が販売の現場の連関をより強固にする重要な役目を果たしている。